

春日部市子ども読書活動推進計画進捗状況調査(令和元年度)

別紙1

実施状況欄
1 順調
2 概ね順調
3 やや遅れている
4 遅れている
5 未実施

1.【施策1】家庭における読書活動推進

(1)読書に親しむきっかけづくり

具体的取組	取組内容(○継続、◎充実、◆新規)	年度	進捗状況 (番号入力)	実施内容や今後の計画など	担当課
① ブックスタート事業	○10か月児健康診査に訪れた乳児と保護者を対象に、絵本の配布とブックスタートボランティアによる絵本の読み聞かせを行います。また、ボランティアに対する研修を継続して実施します。	R1	1	10か月児健康診査に訪れた乳児とその保護者を対象に、絵本の配布とブックスタートボランティアによる絵本の読み聞かせを行いました。また、令和2年2月には、「赤ちゃん絵本について」「わらべうた・手遊びについて」の研修会を開催し、ブックスタートボランティアのスキルの向上を図ることができました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、絵本の読み聞かせや、研修会の開催を中止としますが、関係課と連携し絵本の配布を行っていきます。	こども政策課
	◎0歳児から1歳児向けのブックリストを改訂し、新しく出版されたものを含めた赤ちゃん絵本に乳児と保護者が合うきっかけづくりに取り組めます。	R1	1	従来の赤ちゃん絵本リスト「はじめて出会う絵本」について、近年出版された絵本を含む9冊を差し替え、表紙も一新した改訂を実施し、ブックスタート配布用に印刷を行いました。令和2年度以降も引き続きこども政策課と連携し、ブックスタート時のリスト配布を通してよりよい赤ちゃん絵本の周知に努めます。	社会教育課
② 乳幼児向けおはなし会	◎図書館3館それぞれで、ボランティアと協力して乳幼児向けおはなし会を継続して実施します。また、子どもと保護者が絵本を通じて楽しむ体験を通し、家庭での読書活動につながるための情報収集と提供に努めます。 (指定管理者)	R1	1	図書館3館それぞれで、ボランティアと協力し、乳幼児向けおはなし会を毎月継続して実施しました。	社会教育課
③ 図書館利用の機会拡大	◎図書館3館それぞれで、幼い子どもを連れた保護者が周囲に気兼ねなく図書館を利用できるような時間帯を設定し、幼い頃からの読書習慣の形成機会を拡大します。 (指定管理者)	R1	1	中央図書館及び庄和図書館では、幼い子どもを連れた保護者が周囲に気兼ねなく図書館を利用できるような時間帯(午前10時～正午)を設定しており、武里図書館についても令和2年度から実施予定となっています。	社会教育課
④ 読書記録	◎保護者が幼い子どもに読み聞かせた本を継続的に記録する手段を拡充し、家庭での読書活動推進の動機づけに努めます。	R1	1	読書記録用紙を図書館ホームページに掲載し、ダウンロードできるようにしています。令和2年度も、幼い子どもをもつ保護者に活用されるよう周知に努めます。	社会教育課

(2)家庭の読書習慣の形成

具体的取組	取組内容(○継続、◎充実、◆新規)	年度	進捗状況 (番号入力)	実施内容や今後の計画など	担当課	
①	家読(うちどく)プロジェクト	◆図書館3館それぞれで、「家族の大事な1冊」取組を実施します。その本にまつわる家族の思い出エピソードを募集し、館内掲示等を行うことによって、家読の広報を図るとともに、家族の絆を深め、家庭での読書習慣の形成と継続を図ります。(指定管理者) ◆学校と連携し、児童生徒が自ら選んだ本を中心に「家読おすすめ本」を選定し、ブックリストの作成・配布を行います。また、学校と連携して家読おすすめ本セットの団体貸出を実施し、家読の広報と利用拡大を図ります。 ◆図書館3館それぞれで、家読おすすめ本の展示コーナーを常設して、ブックリストの配布と本の貸出を行い、家読の推進に努めます。(指定管理者) ◆家庭に子どものための本棚やコーナーがあるなど、常に子どもの身近に本がある環境を実現できるよう、家読の広報を図ります。	R1	1	<p>図書館3館で夏休み期間に図書館利用者から「家族の大事な1冊」エピソードを募集し、10月に寄せられたエピソードを基に特集展示を行いました。</p> <p>市内小中学校及び指導課と連携し、市内小中学校の児童生徒に対し「家読おすすめ本」のアンケート調査を実施しました。その結果を参考に、児童生徒からのおすすめ本を中心にしたブックリスト(小学生版・中学生版)を作成しました。令和2年度以降は、引き続き学校等と連携し、各学校へのブックリスト配布や家読の周知に努めます。</p> <p>令和2年度から「家読おすすめ本」の常設展示を実施する予定です。</p> <p>ブックスタート時の配付資料として、家庭向け家読のチラシを作成しました。今後も引き続き、家読の周知を図るよう効果的な手法を考えていきます。</p>	社会教育課

2.【施策2】地域における読書活動推進

(1)図書館の取組

具体的取組	取組内容(○継続、◎充実、◆新規)	年度	進捗状況 (番号入力)	実施内容や今後の計画など	担当課
① 児童書の充実・整備	○蔵書の中核を成すような優れた児童書を中心に、新しく出版された本の中から、魅力的な絵本や物語、最新の情報が掲載された本など、今を生きる子どもにふさわしいものを継続して選定し、未来を生きる子どもたちへ継承します。 ◎長年読み継がれて激しい汚損や破損が見受けられる基本図書の買い替えを行い、常に子どもの読書意欲が持続するよう努めます。	R1	1	新しい児童書については、司書職員が日々出版状況を確認し、子どもたちの心の成長の糧となる本を選定して図書館の蔵書に加えています。 長年読み継がれている児童書の基本図書についても、各図書館の所蔵状況や汚破損状況を調査し、必要に応じて複本の購入や買い替えを行っています。今後も引き続き常に子どもたちが良書を手にとることができる環境づくりに努めます。	社会教育課
② 読書環境の整備	◎図書館3館それぞれで、全ての子どもが読みたい本と出合えるよう、年齢やテーマを工夫した展示コーナーを充実させ、子どもが自主的に本を選べる読書環境を整えます。(指定管理者) ◆図書館3館それぞれで、中学生や高校生が興味を持つようなテーマに関する本の展示やYAコーナーの充実に努め、中学生や高校生が気軽に図書館に足を運び、本を借りたくなるような環境を整え、YAサービスの更なる向上を図ります。(指定管理者)	R1	1	図書館3館で毎月児童向け特集展示を実施しています。また、「生物多様性」をテーマとしたコーナーを設置しています。 埼玉県の高校司書達が作成したブックリスト「埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本」の配布や掲載図書の展示などにより、YAコーナーの充実を図っています。	社会教育課
③ ハンディキャップのある子どもの読書活動支援	◎点字図書、大活字本、DAISY図書、マルチメディアDAISY図書など、障がい者サービス用資料の周知を図り、障がいのある子どもたちの読書活動の支援に努めます。(指定管理者)	R1	3	児童向けの大活字本を揃え、LLブックを購入するなど、ハンディキャップのある子どもの読書活動支援に努めました。令和2年度から、県立春日部特別支援学校の1年生に「らんどせるブックかすかべ」(セカンド・ブック事業)を実施する予定です。また電子書籍の読み上げ機能を活用した、難読者向け電子書籍サービスの案内作成を計画しています。	社会教育課
④ 図書館利用者へのアンケート調査	○図書館3館それぞれで、子どもと保護者を対象としたアンケート調査を毎年継続して実施し、アンケート調査結果を参考に、子どもの読書活動を一層充実するように努めます。(指定管理者)	R1	3	令和2年3月に実施を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となりました。令和2年度に、新型コロナウイルス感染症への十分な対策を行った上で実施する予定です。	社会教育課
⑤ おはなし会の実施	◎図書館3館それぞれで、ストーリーテリングを中心とした年齢別のおはなし会を毎週開催します。おはなしの世界を想像して楽しむ経験を通じ、子どもを自主的な読書活動に導き、生涯にわたって読書習慣を身につけるきっかけづくりを支援します。(指定管理者)	R1	1	図書館3館で、ストーリーテリングを中心とした年齢別のおはなし会を図書館ボランティア団体と協働で、毎週実施しています。	社会教育課

具体的取組	取組内容(○継続、◎充実、◆新規)	年度	進捗状況 (番号入力)	実施内容や今後の計画など	担当課
⑥ 図書館利用促進のための取組	<p>◎図書館3館それぞれで、子どもの年齢的特性や地域の実情を踏まえ、子どもと保護者を対象とした取組の更なる充実に努めます。(指定管理者)</p> <p>◎「図書館を使った調べる学習コンクール」など、子どもたちの調べ学習や読書の成果の情報が発信される機会を拡充し、図書館利用の促進を図ります。(指定管理者)</p> <p>◎YA向け電子書籍の一層の充実を図るとともに、スマートフォン等の電子機器を活用した読書活動推進の取組に関する調査研究に努めます。(指定管理者)</p> <p>◆インターネット環境が身近にある子どもたちのため、図書館システムと連動した読書推進機能を活用します。(指定管理者)</p>	R1	1	<p>図書館3館で「らんどせるブックかすかべ」(セカンド・ブック事業)を実施し、小学1年生の読書活動推進を図っています。</p> <p>図書館3館で、教育委員会との共催事業として「第3回 図書館を使った調べる学習コンクール」を実施しました。市内優秀作品は全国コンクールで奨励賞・佳作に入賞しました。</p> <p>中学生・高校生向けの電子書籍を積極的に「かすかべ電子図書館」の蔵書とし、時代に即したYA向け読書サービスの充実を図りました。</p> <p>読書通帳発行の対象を、小学生から図書館全利用者に拡大し、乳幼児や中学生も読書通帳を利用できるようにしたことにより読書活動の推進を図りました。また、夏休み期間中に、教育委員会との共催で、読書通帳を活用した「夏休み読書マラソン大会」を実施しました。</p>	社会教育課
⑦ ボランティア等の支援・育成	<p>◎学校での読み聞かせ活動を支援するため、読み聞かせ用ブックリストを拡充し、学校等に配布します。</p> <p>◆学校等で読み聞かせ活動に関わるボランティアを支援・育成するため、読み聞かせ養成講座等を開催します。</p>	R1	1	ブックリスト「小・中学校での読み聞かせにおすすめ本」を作成し、市内小・中・義務教育学校に配布しました。	社会教育課
⑧ 学校等との連携・協力	<p>◎団体貸出、学校おはなし会、ブックトークの効果的な広報を実施し、小・中学校と連携した調べ学習や読書環境の更なる充実に努めます。</p> <p>◎学校からの申込みによる団体貸出サービスを一層充実させるため、利用アンケート調査を実施して小・中学校の現状や要望を把握し、調べ学習用図書を整備・充実します。</p> <p>◆学校の団体貸出の利便性向上を図るため、司書職員による学校訪問支援の機会を利用して本を運搬し、利用向上に努めます。</p>	R1	2	<p>市の教育研究会で、団体貸出やブックトークなど、社会教育課司書職員が実施している支援について広報を行いました。その結果、初めてブックトークを依頼する小学校が2校ありました。</p> <p>団体貸出時にアンケートを実施し、学校から希望があった分野や貸出依頼が多い分野については随時追加購入しました。</p> <p>司書職員を活用した団体貸出図書の運搬について広報を行いました。小学校の団体貸出は継続的に申請があり、中学校に関しても令和2年度から図書館の委託業者の運搬を開始するため、更なる周知及び利用促進に努めます。</p>	社会教育課

(2)子育て支援・社会教育施設等の取組

具体的取組	取組内容(○継続、◎充実、◆新規)	年度	進捗状況 (番号入力)	実施内容や今後の計画など	担当課
① 児童発達センターの取組	◎図書館の団体貸出サービスを活用し、行事の集会時や日々の療育に大型絵本や布絵本を取り入れるなど、本を楽しむ機会の更なる充実を図ります。	R1	3	令和元年度は、図書館の貸出サービスの利用の機会がもてませんでした。今後は、計画的に利用を検討しており、大型絵本や布絵本にふれる機会を取り入れていく予定です。	障がい者支援課
	○子どもがより読書活動を楽しめるよう、児童発達支援センターと連携し、大型絵本などの団体貸出を継続して実施します。		3	大型絵本などの団体貸出体制は継続して整えていますが、令和元年度は利用につながりませんでした。今後は児童発達支援センターと連携し、利用の促進に努めます。	社会教育課
② 児童センターの取組	○読み聞かせの事業の実施や、読書に通じる活動を取り入れた事業の実施を継続します。	R1	1	令和元年度は、児童センターでの読み聞かせ事業として、合計81回・1,881人の参加がありました。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染予防対策を実施しながら、読み聞かせ事業の充実に努めていきます。	こども政策課
③ 子育て支援センターの取組	○子どもと保護者が気軽に本と触れ合うことができるよう、引き続き児童書を配架します。	R1	1	令和2年度以降も引き続き、本に親しみ、読書の楽しさを体験する場を継続していきます。	保育課
④ 放課後児童クラブの取組	○各施設に児童書などを継続して配架します。	R1	1	令和2年度以降も引き続き、本に親しみ、読書の楽しさを体験する場を継続していきます。	保育課
⑤ 放課後子ども教室の取組	○学校の協力のもと、学校図書館等で自由教室を実施することで、子どもが自ら本を手にとれる環境を確保し、読書を推奨します。	R1	1	放課後子ども教室において、学校図書館等で子どもが自ら本に触れる機会を提供する教室を実施しました。引き続き、より多くの放課後子ども教室において、子どもが自ら本を手にとれる環境を確保し、読書を推奨していきます。	社会教育課
⑥ 公民館の取組	○児童書を継続して配架するとともに、公民館によって実施している読み聞かせに関する事業の継続・充実に努めます。	R1	1	豊春地区公民館では、地域文庫の協力のもと、1か月に1回、乳幼児と保護者を対象に「えほんの広場」を開催しています。絵本の読み聞かせ、絵本の紹介、手遊びなどを通して、絵本の読み聞かせの仕方や大切さを伝えることにより、子どもが読書の習慣を身につけ、豊かな情操を育むことを目指します。令和2年度以降も引き続き地域文庫と連携し事業を実施していきます。 武里地区公民館では、主催事業「キッズフェスタinたけさと」の中で絵本の読み聞かせを行いました。	中央公民館
⑦ 地域文庫の取組	◎効果的な広報手段を検討し、地域の子どもたちの身近な読書活動の場である地域文庫活動への協力を努めます。 ◎地域文庫からの要望に応じ、団体貸出のための児童書の充実を図ります。	R1	2	地域文庫のちらしをブックスタート時の配付資料にすることで、乳幼児の保護者への周知を図りました。令和2年度以降も効果的な広報手段を検討していきます。 また、各地域文庫に対して貸出を要望する児童書の調査を行い、購入及び団体貸出を継続して行うことで、地域文庫の活動を支援しています。	社会教育課

3.【施策3】学校等における読書活動推進

(1)学校の取組

具体的取組	取組内容(○継続、◎充実、◆新規)	年度	進捗状況 (番号入力)	実施内容や今後の計画など	担当課
① 学校の取組	◎12学級以上の全ての学校に司書教諭の配置を継続し、11学級以下の学校にも積極的に配置していく方針です。 ◎学校の特色を生かして読書週間や読書月間の取組を工夫し、本への興味関心を高めたり読書の幅を広げたりすることができるよう努めます。 ◎読書の時間を工夫することで、読書の習慣化を図ります。 ◎様々な教科と読書を関連付けた学習を展開し、児童生徒の読書生活が充実するように努めます。	R1	1	12学級以上の全ての学校に司書教諭の配置を継続し、11学級以下の学校にも積極的に配置しています。 家族で本を読む「家族読書ウィーク」を設けるなど、学校の特色を生かして読書週間や読書月間の取組を工夫し、本への興味関心を高めたり読書の幅を広げたりすることができるよう努めています。 読み聞かせボランティアによる読み聞かせや読書マラソンなど、読書の時間を工夫することで、読書の習慣化を図っています。 国語科や総合的な学習の時間など、様々な教科と読書を関連付けた学習を展開し、児童生徒の読書生活が充実するように努めています。	指導課
② 学校図書館の取組	◎本の貸出冊数や人気の本等を調査し、各学校の実態に応じて魅力的な図書館づくりを工夫することで、児童生徒の図書館利用率を高めることができるように努めます。 ◎国語科や総合的な学習の時間等、学習の場として使いやすい図書館づくりに努めます。	R1	1	本の貸出冊数や人気の本等を調査したり、推薦図書を紹介したりするなど、各学校の実態に応じて魅力的な図書館づくりを工夫することで、児童生徒の図書館利用率を高めることができるように努めています。図書支援員や地域の図書ボランティアの方々などの協力も得ながら、国語科や総合的な学習の時間、休み時間等、学習の場として使いやすい図書館づくりに努めています。	指導課
③ 学校図書館の図書整備	○学校図書館の蔵書冊数は、おおむね順調に伸びており、引き続き学校図書館の充実を図ります。 ○学校図書館図書標準に留意しながら、現状にそぐわなくなった内容の本や、使用に耐えられなくなった本などについて蔵書の更新を行い、児童生徒の利用に役立つ図書の整備に努めます。	R1	2	学校図書館の蔵書冊数は、学校の統廃合による学校数の減少により、平成30年度：453,156冊から、令和元年度：434,947冊と減少しましたが、図書整備率は、平成30年度：120.7%、令和元年度：120.3%であり、同水準を保っています。 学校図書館図書標準は、学校の統廃合による学校数の減少により、図書標準達成校数が平成30年度：33校、令和元年度：32校と減少しましたが、未達成校が平成30年度：37校中4校、令和元年度：34校中2校と減少しました。 今後も引き続き、学校図書を計画的に購入することができるように、各学校に購入費用を予算措置します。	学校総務課
④ 学校図書館支援員の配置 (小学校・義務教育学校(前期課程)図書館)	○引き続き、学校図書館支援員を活用して学校図書館の充実を図ります。	R1	1	学校図書館支援員6名(3校から4校に対し1名)を配置し、児童の読書意欲の向上や適切な蔵書の活用などに取り組んでいます。 今後も引き続き、学校図書館支援員を活用し、学校図書館の充実を図ります。	学校総務課
	○司書職員が学校図書館支援員への基本研修を定期的に実施するとともに個別相談に随時対応し、更なるスキルアップのサポートを図ります。		1	学校図書館支援員に対し、「図書の修繕方法と装備について」の実習を実施しました。 また、支援員からの個別相談1件に対応しました。	社会教育課

具体的取組	取組内容(○継続、◎充実、◆新規)	年度	進捗状況 (番号入力)	実施内容や今後の計画など	担当課
⑤ 司書職員の訪問支援 (中学校・義務教育学校(後期課程)図書館)	◎生徒が自発的に行う読書活動や、読書活動を広める取組の企画を支援するため、学校と連携して生徒のブックトーク実施やPOP作成等を推進するよう努めます。 ◎学校と連携して図書委員会活動に積極的に協力し、読書好きな生徒の育成に努めます。 ◆市内全校へ司書職員が訪問している体制を活用し、学校と連携して読書郵便などの複数校にまたがる読書活動の取組を図ります。	R1	1	生徒の自発的読書活動の支援として、授業でのブックトークや、昼休み等にはなし会などを実施しました。 図書委員会活動への取組としては、図書委員会に参加し、委員に向けて新刊紹介やブックトークの実演及びアドバイスをを行いました。 複数校にまたがる取組としては、市内全中学及び義務教育学校で学校給食と連携した「図書館リストランテ」を実施しました。	社会教育課

(2)幼稚園・保育所(園)の取組

具体的取組	取組内容(○継続、◎充実、◆新規)	年度	進捗状況 (番号入力)	実施内容や今後の計画など	担当課
① 私立幼稚園の取組	○園児がより読書活動を楽しめるよう、幼稚園からの要望に応え、大型絵本などの団体貸出を継続して実施します。	R1	3	令和元年度は、武里図書館に近隣幼稚園児のクラスが来館し、各々好きな絵本を選んで団体貸出を行いました。 令和2年度以降も、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、幼稚園からの要望に応じ、大型絵本などの貸出を行います。	保育課 社会教育課
② 公立保育所の取組	○保育の中で絵本の活用機会を多く持つとともに、保育士の読み聞かせスキルアップに努めます。 ◎絵本・紙芝居などを保育所間で貸し借りする等、資源を有効に活用できるようにし、絵本活用の充実を図ります。	R1	1	日常的に絵本の読み聞かせを行っており、保育士に対して絵本の紹介や子どもへの読み聞かせポイントなどの研修を行うなど、読み聞かせ実践を充実させるための活動を行いました。令和2年度以降も引き続き、こどもたちに対して本に親しみ、読書の楽しさを体験する場を、保育士に対し読み聞かせのスキルアップを継続していきます。	保育課
	○園児がより読書活動を楽しめるよう、保育所からの要望に応え、大型絵本などの団体貸出を継続して実施します。		2	大型絵本の団体貸出体制は整えています。令和2年度は、利用につながるよう周知に努めていきます。また、保育現場で要望の高い大型絵本にも配慮し、選書を行うことで利用促進を図ります。	社会教育課
③ 民間保育園の取組	○園児がより読書活動を楽しめるよう、保育園からの要望に応え、大型絵本などの団体貸出を継続して実施します。	R1	3	大型絵本の団体貸出体制は整えています。令和2年度は、保育課においては、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、民間保育園からの要望に応じ、大型絵本などの貸出を行います。社会教育課においては、利用につながるよう周知に努めていきます。また、保育現場で要望の高い大型絵本にも配慮し、選書を行うことで利用促進を図ります。	保育課 社会教育課

4.【施策4】子どもの読書への関心を高める取組

(1)子ども同士の取組

具体的取組	取組内容(○継続、◎充実、◆新規)	年度	進捗状況 (番号入力)	実施内容や今後の計画など	担当課
① 子ども司書講座	◎図書館3館それぞれで、家庭や学校において読書のリーダーとして活躍する子どもを養成するため、必要な知識を習得するためのカリキュラムを計画し、子ども司書講座を開催します。(指定管理者) ◆図書館3館それぞれで、講座を修了した子ども司書の活動の場を設け、子どもの読書活動推進の意欲が継続するよう努めます。(指定管理者)	R1	2	庄和図書館では「子ども司書講座」を実施しており、中央・武里図書館では、令和2年度から実施を予定しています。	社会教育課
② ビブリオバトルの実施	◎中学生や高校生を対象としたビブリオバトルを毎年実施し、子どもの発達段階に合わせた新しい読書活動を推進します。(指定管理者)	R1	2	中央図書館では、図書館まつり開催時に実施し、当該事業でチャンピオンとなった高校生が、全国大会でも優勝しました。武令和2年度は図書館3館でビブリオバトルの実施を予定しています。	社会教育課
	◆司書職員の中学校図書館支援の場を活用し、ビブリオバトルの情報提供を行い、中学校からの要望に応じ、連携協力してビブリオバトルの実施を支援します。		1	市内中学校1校で校内ビブリオバトル大会が開催され、選抜された生徒が市立図書館のビブリオバトルに出場しました。大会出場に際し、社会教育課の司書職員が発表方法等についてアドバイスを実施しました。令和2年度も、教員及び生徒へのアドバイスなどを随時行います。	
③ 子ども同士の読書活動の充実	○学校の特色を生かした読書活動を継続して実施します。	R1	1	子ども同士でお薦めの本を紹介し合うなど、学校の特色を生かした読書活動を継続して実施しています。	指導課
	◆図書館3館それぞれで、子ども自身が選ぶおすすめ本や作成したPOPを紹介する機会を設け、同世代の子どもの読書の幅を広げることに努めます。(指定管理者)		2	中央図書館では中学校と協力して中学生のお勧めPOPを掲示し、特集展示を行っています。武里・庄和図書館は今後の実施を検討しています。	社会教育課

5.【施策5】子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

(1)子どもの読書活動の普及啓発と広報の推進

具体的取組	取組内容(○継続、◎充実、◆新規)	年度	進捗状況 (番号入力)	実施内容や今後の計画など	担当課
① 「子ども読書の日」開催事業	◎図書館3館それぞれで、「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に合わせ、子どもに読書のきっかけを与えたり、子どもの読書活動を更に推進させる取組を実施します。(指定管理者)	R1	1	図書館3館それぞれで、「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」に合わせ、おはなし会等の事業を実施しています。	社会教育課
② ブックリストの配布	◎図書館3館それぞれで、各年齢層向けのブックリストを配布するとともに、リストに掲載された本の展示・特集コーナーを設置し、本選びに迷う子どもと保護者が読書活動を推進しやすい環境を整えます。(指定管理者)	R1	2	中央・武里図書館では、ブックリスト「この本読んだ」の配布とともに掲載図書を集めて特集コーナーを設置しました。また、庄和図書館では、0～5歳児向けの本や科学の本についておすすめブックリストを作成・配布しました。また、令和2年度中を目途に、3館共通の新たなブックリスト(年4回作成を予定)の作成準備を進めています。	社会教育課
③ 子どもの読書活動の啓発・情報発信	◎図書館3館それぞれで、保護者が子どもの読書活動に理解と関心を持つような本を展示・紹介する「子育て応援コーナー」を設置します。(指定管理者) ◎図書館だより等を通して、読書活動推進の取組に関する情報発信を行います。また、関連施設と連携して図書館だよりを配布することにより、さらに広く情報を発信します。(指定管理者) ◎図書館ホームページやブログを積極的に活用し、読書活動推進の取組や情報の発信に努めます。(指定管理者) ◆毎年10月を図書館のファミリー読書月間とし、定期的に読書活動に対する興味を喚起し、子どもと保護者の読書活動の推進を図ります。期間中には、親子絵本読み聞かせ講座等、家読活動を支援するための催しを実施します。(指定管理者)	R1	2	児童書特集を毎月実施すると共に、「らんどせるブックかすかべ」や「調べる学習コンクール」事業に合わせて、関連図書や作品レプリカ等を展示し、子ども読書活動への保護者の理解を深めました。「子育て応援コーナー」については、庄和図書館で「子育て支援」常設展示を行っていますが、中央・武里図書館については内容・設置場所について令和2年度以降検討していきます。 図書館3館それぞれで毎月発行している図書館だよりに、各館の児童向け定例行事および特別行事の案内や月ごとの特集展示の紹介等を掲載し、市内公民館に配布しました。また中央図書館では児童向け大型行事や夏休み行事についてのちらし等を近隣の保育園及び幼稚園に配布しました。 図書館3館の児童行事案内を図書館ホームページ「お知らせ」欄に毎月掲載しました。また、行事の様子について、開催後1週間以内に図書館ホームページやブログで写真と共に紹介し、読書活動活動の推進に取り組むと共に情報の積極的な発信に努めました。 家族エピソードの特集展示を行いました。親子絵本読み聞かせ講座等の事業については未実施となりました。	社会教育課
④ 「文字・活字文化の日」関連事業	◆図書館3館それぞれで、「文字・活字文化の日」から始まる読書習慣に合わせ、子どもに読書のきっかけを与えたり、子どもの読書活動を更に推進させる取組を実施します。(指定管理者)	R1	1	図書館3館それぞれで、「図書館探検隊」、「図書館まつり」、「秋のおはなし会」等の事業を実施しました。	社会教育課